

年間テーマ『アイランドの心の故郷（ふるさと）』

1845～1849年にかけて起ったジャガイモの大飢餓と疫病によってアイランドの人々は疲弊し、やがて祖国を離れ。多くは新天地を求めてアメリカに渡った。その移民船の船底に若きラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の姿があった。彼が大西洋を越えて渡米したのは1869年であったが、当時アメリカは南北戦争が終わり、混沌のうちにも近代化を遂げて行こうとする矢先であった。

それ以後ハーンはシンシナティで8年、ニューオーリンズで10年、西印度諸島（カリブ）のマルティニク島で2年の合計20年にわたってジャーナリストとして活躍した。その間生まれ故郷のギリシャと青い海、別れたままの醜の母を想い、幼少年期に育ったアイランドのトラモアやダブリンの美しい海辺の風景を片時も忘れることはなかった。

アイランドの人々のルーツは広大なヨーロッパ文化・文明の根源のひとつをなすケルト民族である。彼らは歴史的に戦よりも平和な文化・文明を好み、これを継承／伝承していく文化力に優れていた。ハーンはこの血を受け継ぎ、文筆活動においては詩的で美しい散文にのせて多くの記事や作品を残した。そこには民族の魂が込められた民話や説話、そして俚諺（諺）などへの深い関心があったのである。

本年度（2025年）秋からはNHKによる連続テレビ小説のドラマ「ばけばけ」が始まる。これを背景にセツ夫人に焦点が当てられ、そこから見えるハーンの姿が松江や熊本を舞台に生き活きと描き出されてくることでしょう。

この市民講座では熊本に3年間いたハーンの心に触れ、遠くアイランドひいてはケルトの人々の心の故郷に思いを馳せてみたいと思います。皆様ぜひお越し下さい。

講師：本間康夫氏（崇城大学名誉教授）
出演：アイリッシュ・ミュージック・シークラ・キョートルトリの皆さん
演題：『アイランドの心の故郷Ⅱケルトの音楽Ⅱ』

講師からひとこと

演奏予定曲（変更もあります）

○アイランドの風景

Blarney Pilgrim

Inisheer

Criffs of Moher

Trip to Belfast

Ballyfin Polka

New Market Polka

○アイランドの神話、歴史、妖精

Sidh Beag Agus Sidh Mor

Leprechaun Morrison Jig

Mo Ghile Mear

Banshee

Loch Lomond

O' Carolan's Draugh

Cunla

The King of the Fairies

The Foggy Dew

John Ryan's Polka

など

アイランドの伝統音楽は何世紀にも渡って親から子へ、人から人へと伝承され、国内のみならず、世界中で演奏されてきました。それはアイランドの古い時代から今なおずっと切れ目なく伝えられてきたものであり、「生きている伝統、ひいては心の故郷」的な存在と言っても過言ではないでしょう。

今回は、アイランドの歴史や伝説、妖精神話、風景（地域）といったことがらにスポットを当て、演奏を交えてご紹介します。この講座を通してアイランドやケルト圏の音楽や文化に興味を持って頂ければ幸いです。演奏はアイリッシュ・ミュージック・シークラ／キョートルトリ。

（本間康夫）

期日：令和7年5月24日（土）14:00～15:30 参加費：500円（会員は無料）

会場：お菓子の香梅帯山店ドゥ・アート・スペース（熊本市中央区帯山7-6-84 国体道路沿い）

次回 令和7年6月28日（土）「アイランドの心の故郷～民話と妖精たちの話～(仮)」

高木朝子（熊本高専熊本キャンパス准教授）

※ご来場は、駐車場が狭いため公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせは熊本アイランド協会事務局へ

Tel.096-366-5151 Fax.096-372-1857 / Email:office@kumamoto-ireland.org